

## VIII 東日本大震災支援について

2011年3月11日に発生した東日本大震災並びに福島原子力発電所事故に関して、本学で実施してきた支援は以下の通りである。

### 1. 被災地に対する活動

- 1) 福島県の武田総合病院へのリネン類寄贈  
武田総合病院に対して、実習室のシーツ50枚、フェイスタオル40枚、バスタオル30枚、紙おむつ類17パックを提供した。(2011年3月17日)
- 2) いわき市・相馬市の心のケアチームへの参加  
福島県いわき市における心のケアチームに参加し(4月)、5月からは福島医科大学のチームへの支援活動を、きぼうときずなプロジェクトにより行った。(2011年4月～8月)
- 3) きぼうときずなプロジェクトによる福島支援  
NPO 法人日本臨床研究支援ユニットとの協働による、きぼうときずなプロジェクトで福島県郡山市、いわき市、相馬市に、教員、院生、学部生、同窓生、認定看護師教育課程修了生、本学とゆかりのある方延べ1,075人を派遣した(詳細はp58を参照)。(2011年5月～2012年3月)
- 4) 日本赤十字石巻看護専門学校へ図書を送る  
学内有志から図書を収集し、285冊寄せられたうち216冊を図書館図書として装丁し、寄贈した。送料は募金(18,390円)により賄い、残額は同校へ寄付した。また、図書館員1名を1日同校へ派遣した。(2011年9月)
- 5) 聖路加同窓会による学生のボランティア活動支援制度による活動  
聖路加同窓会により、学生ボランティア活動のために、交通費として1回1万円の支援制度が設けられた。延べ12名がこれを受け、各自でボランティア活動に参加した。(2011年3月～2012年3月)

### 2. 組織としての対応

- 1) 在学中の被災学生に対する支援  
在学中の被災学生に対し、その被災状況に応じた支援策を定めた。該当者は1名で、学費の1年分を支給した。
- 2) 2012年度入学予定の被災地出身者に対する奨学金制度  
被災地出身の入学予定者に対し、KK ゾンネンシヤイン財団より特別奨学金(入学金および学費相当額)の寄付を得て支給した。
- 3) 学生のボランティア活動の単位化  
通年で開講している総合科目Ⅲ(ボランティア活動学習)について、特別に7月に履修届の提出を認めた。4月登録13名、7月登録5名、うち単位取得者は9名と3名であった。この中で7名から東日本大震災関連のボランティア活動が報告された。
- 4) 教職員のボランティア活動を出張扱いとした  
教職員のボランティア活動を出張扱い(出張費はなし)とし、これにより、「きぼうときずなプロジェクト」に32名、「心のケアチーム」に1名、NPO 法人難民支援協会による女性への支援で岩手県花巻市に5名が出張した。

### 3. その他

- 1) 日本聖公会東北教区への支援物資収集への協力  
(2011年3月)
- 2) 学生自治会による義援金募金(2011年4月5日～5月11日)  
義援金総額189,698円を、日本赤十字社へ送った。
- 3) 被災地支援に行った人々に対するサポート  
精神看護学の教員の運営により、支援者へのサポートグループ活動を10回開催した。(2011年6月～2012年4月)